

# 奈良県の労働市場の動き（令和2年2月分）

・有効求人倍率（季節調整値）は、1.43倍で、前月より0.02ポイント下回りました。

・全国は1.45倍で、奈良県は0.02ポイント下回りました。

・近畿ブロックは1.48倍で、奈良県は0.05ポイント下回りました。

・有効求人数（季節調整値）は、24,043人、前月より2.3%の減少となり2ヶ月連続の減少となりました。

・有効求職者数（季節調整値）は、16,872人、前月より0.3%の減少となり2ヶ月ぶりの減少となりました。

・新規求人倍率（季節調整値）は2.21倍でした。  
前月より0.31ポイント上回りました。

・新規求人数（季節調整値）は、8,995人、前月より14.5%の増加となりました。

主要産業の新規求人状況を前年同月比でみると、「建設業」、「製造業」、「卸売業、小売業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「サービス業(他に分類されないもの)」で減少しました。

建設業(前年同月比17.0%減)、  
製造業(同17.6%減)、  
運輸業、郵便業(同11.1%増)、  
卸売業、小売業(同20.9%減)、  
宿泊業、飲食サービス業(同3.5%減)、  
医療、福祉(同3.3%増)、  
サービス業(他に分類されないもの)(同3.6%減)

・新規求人数（原数値）9,291人のうちパート求人は4,549人でした。パート求人比率は49.0%でした。

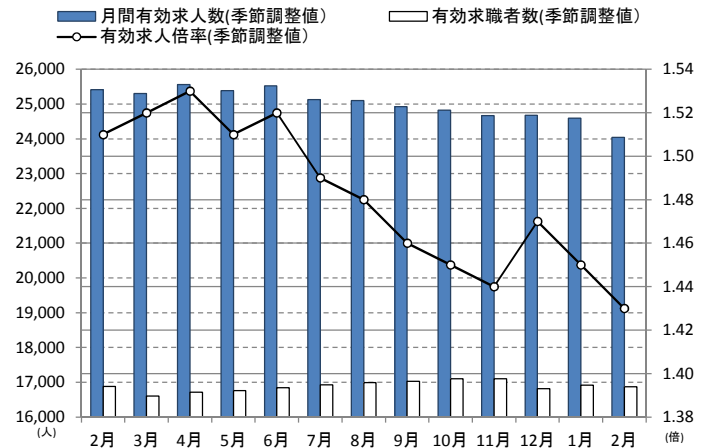
・新規求職者（季節調整値）は、4,075人で前月より1.5%の減少となりました。

・雇用保険受給資格決定件数は1,009件でした。  
前年同月比で3.6%の増加となりました。

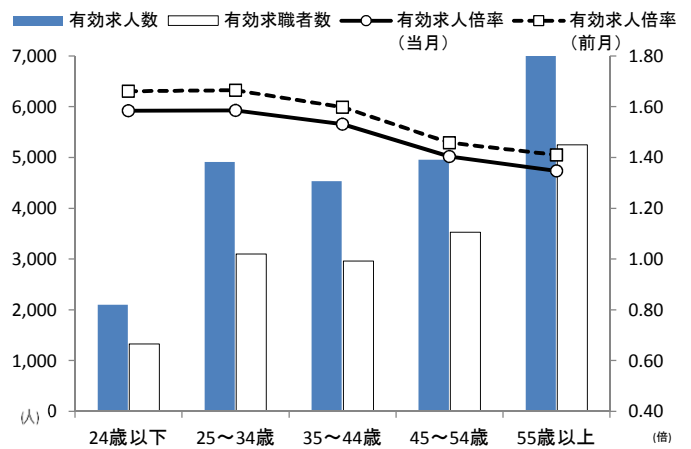
・雇用保険受給者実人員は3,403人でした。  
前年同月比で2.5%の増加となりました。

(注) 求人倍率(季節調整値)については、季節調整替えが行われ、令和元年12月以前の数値は改訂されております。季節調整法センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)により改訂。

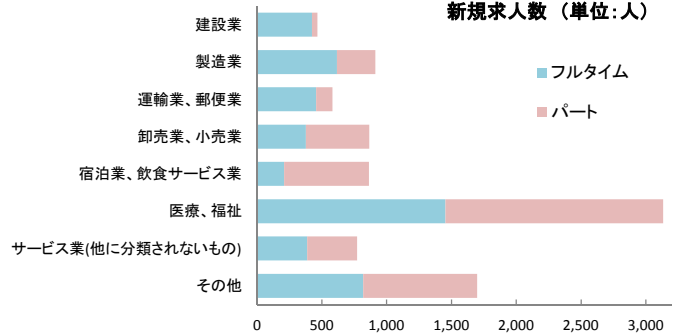
月間有効求人・有効求職・有効求人倍率の動き(パートを含む)



今月の年齢階層別有効求人・有効求職状況(常用・パートを含む)



新規求人数(単位:人)



新規求人の産業別割合

